

- 問1 古代文明における文字の記録方法と、その文明が成立した地理的条件の組み合わせとして、メソポタミア文明について正しく述べたものはどれですか。 (2024年 佐賀県公立入試 類似)
- 河畔に自生するパピルスという植物から紙のようなものを作り、そこに鳥や蛇などを模した文字を書いた。
 - 大河からもたらされる良質な粘土を板状にし、鋭い線の組み合わせによる文字を刻んだ。
 - 占いの道具として、亀の甲羅や牛の骨を使い、そこに複雑な線を組み合わせで刻んだ。
 - 川の周辺で採れる石に、主に商業活動の記録として、動物や人物の姿を彫り込んだ。
- 問2 紀元前2500年頃からインド北西部の河川流域で栄え、モヘンジョ・ダロに代表されるような、道路が碁盤の目のように整備され上下水道を備えた計画的な都市を築いた文明を何とといいますか。 (2024年 滋賀県公立入試 類似)
- インダス文明
 - 中国文明
 - エジプト文明
 - メソポタミア文明
- 問3 現在のイラク付近にあたる、チグリス川・ユーフラテス川流域で成立したメソポタミア文明に関する記述として、正しいものはどれですか。 (2017年 岩手県公立入試 類似)
- 定期的に増水するナイル川の氾濫を予測するために、太陽暦が発明された。
 - 月の満ち欠けの周期を一月とする暦が作られ、時間は60進法で数えられた。
 - インダス川流域において、モヘンジョ・ダロなどの計画的な都市が築かれた。
 - 黄河の流域において、亀の甲羅や牛の骨に刻まれた甲骨文字が使われた。
- 問4 古代中国の各王朝で見られた文化や社会の様子について述べた文として、正しいものはどれか。 (2024年 和歌山県公立入試 類似)
- 殷の時代には、亀の甲羅や動物の骨に刻まれた甲骨文字が使われていた。
 - 秦の時代には、西方との交易路であるシルクロードを通じて仏教が伝わった。
 - 殷の時代には、始皇帝によって度量衡や貨幣の統一が進められた。
 - 漢の時代には、初めて青銅器が作られ、万里の長城の建設が開始された。
- 問5 紀元前5世紀頃のアテネなど、古代ギリシャの都市国家で見られた政治の仕組みについて、その特徴を説明したものとして適切なものはどれですか。 (2022年 宮城県公立入試 類似)
- カースト制度と呼ばれる厳しい身分制度があり、特定の身分のみが政治を独占していた。
 - 労働を奴隷に依存する社会構造のもと、市民が直接話し合いに参加する政治が行われていた。
 - 河川の治水を目的とした強力な王権のもとで、官僚による中央集権的な政治が行われていた。
 - 広大な領土を統治するために、各地に知事を派遣して徴税を行う仕組みが整えられていた。
- 問6 古代中国の王朝である殷（商）において、政治のあり方と文字の成り立ちについて述べた文として、最も適切なものを選びなさい。 (2020年 岐阜県公立入試 類似)
- 木簡や竹簡に墨で文字を書く技術が広まり、律令に基づいた法治国家の基礎が築かれた。
 - パピルスに記録された象形文字を用いて、ナイル川の氾濫を予測する天文学が発達した。
 - 亀の甲羅や牛の骨に占いの結果を刻む甲骨文字が使われ、それが漢字の原形となった。
 - 粘土板に刻まれた楔形文字を用いて、目には目を、歯には歯をで知られる法典が記された。
- 問7 宗教の歴史について、7世紀のアラビア半島を中心に興ったイスラム教の成り立ちとして最も適切な記述はどれか。 (2026年 三重県公立入試 類似)
- インドの伝統的な信仰とアーリヤ人の宗教が結びついて成立した。
 - シャカが修行を通じて、人間の苦しみを克服する教えを説いた。
 - ムハンマドが唯一神アラーから受けた啓示に基づき創始した。
 - パレスチナ地方でイエスが説いた教えを弟子たちが広めた。
- 問8 安土桃山時代に行われた朝鮮侵略（文禄・慶長の役）に関連して、日本の伝統的な陶芸技術が大きく発展した理由として最も適切な説明はどれですか。 (2025年 岩手県公立入試 類似)
- 朝鮮から多くの陶工が日本へ連れてこられ、各地で窯を開いたから。
 - 聖武天皇が保護した正倉院の宝物を手本にして作られたから。
 - 渡来人が大陸から新しく須恵器の作製技術を日本に伝えたから。
 - 明から勘合を取り寄せて質の高い陶磁器を大量に輸入したから。
- 問9 古代ローマ帝国が、地中海を囲む広大な領土を長期間にわたって統治し、高度な文明を維持できた理由として、インフラ整備の観点から説明したものとして正しいものを次の中から選びなさい。 (2022年 佐賀県公立入試 類似)
- 各地の有力者に土地を仲介する封建制度を導入し、道路や水道の管理をすべて地方の領主に任せることで中央の負担を減らしたため。
 - 「すべての道はローマに通ず」と言われるほど徹底した道路網の整備により、物資の流通や情報の伝達、軍隊の移動を効率化したため。
 - 文字を読める特権階級のみを対象とした学問を奨励し、道路や水道の建設計画を一般市民には秘匿したため。
 - 他民族との接触を断つために主要都市の周囲に巨大な壁を築き、道路網をあえて分断することで外敵の侵入を防いだため。
- 問10 日本の縄文時代と同じ時期、世界各地では大河の流域を中心に古代文明が成立しました。中国の黄河流域で発展した文明について述べた説明として、最も適切なものはどれですか。 (2019年 山形県公立入試 類似)
- チグリス川・ユーフラテス川の流域で、粘土板に楔形文字を刻み、独自の天文学を発展させた。
 - インダス川の流域で、モヘンジョ・ダロなどの計画的な都市を建設し、公共の浴場や下水道を整備した。
 - ナイル川の流域で、洪水の時期を予測するために太陽暦を作り、死後の世界を信じてピラミッドを建設した。
 - 黄河の流域で、高度な技術を用いた青銅器が作られ、占いなどの記録のために甲骨文字が使用された。
- 問11 弥生時代から古墳時代にかけての道具の使用目的や技術的特徴について、正しい説明を述べているものはどれですか。 (2018年 長野県公立入試 類似)
- 狩猟や採集が中心の生活の中で、食料を保存するために表面が硬い打製石器が開発された。
 - 定住生活が始まったことで、木の実を粉にするために、網目の文様をつけた磨製石包丁が考案された。
 - 稲作が始まったことで、土を耕すための道具として縄文土器が各地で広く使われるようになった。
 - 大陸から伝わった技術により、高温の窯で焼かれた灰色で硬質の須恵器が作られるようになった。
- 問12 古代文明の発生地について述べた文として、アフリカ北東部のナイル川流域で栄え、象形文字を使用し、ピラミッドなどの巨大建築物を残した文明の名称を答えなさい。 (2019年 沖縄県公立入試 類似)
- メソポタミア文明
 - 中国文明
 - エジプト文明
 - インダス文明
- 問13 イスラム教が誕生した地域は、世界の略地図上でアフリカ大陸の北東に位置する広大な乾燥地帯であり、紅海とペルシア湾という二つの海域に挟まれた三角形の形状をしています。この地域の名称として正しいものを、次の中から選びなさい。 (2024年 愛知県公立入試 類似)
- スエズ運河
 - 中央アジア
 - アラビア半島
 - イベリア半島

答え合わせ・解説

問1	答え 2 大河からもたらされる良質な粘土を板状にし、鋭い線の組み合わせによる文字を刻んだ。	メソポタミア文明が誕生した地域は、チグリス川・ユーフラテス川の氾濫によって堆積した肥沃な土壌が特徴です。石材や紙の原料が手に入りにくかった一方で、豊富に存在する泥（粘土）を記録媒体として活用する知恵が生まれました。この粘土板にくさび状の跡をつけることで、天体の観測記録やハンムラビ法典などの法規、商業取引の記録などが後世に残されることとなりました。
問2	答え 1 インダス文明	インダス川流域で発達したこの文明は、高度な都市計画に基づいた都市遺跡が特徴です。レンガ造りの建物や排水溝などが整えられており、当時の高い測量技術や土木技術の存在がうかがえます。
問3	答え 2 月の満ち欠けの周期を一か月とする暦が作られ、時間は60進法で数えられた。	メソポタミア文明では、天文学が発達し、月の満ち欠けに基づいた「太陰暦」が用いられました。また、角度や時間を測る際に「60進法」が取り入れられており、これは現代の1分が60秒、1時間が60分という仕組みの源流となっています。他の選択肢は、ナイル川流域のエジプト文明、インダス川流域のインダス文明、黄河流域の中国文明に関する説明であり、地理的背景や文化遺産を区別して理解しておく必要があります。
問4	答え 1 殷の時代には、亀の甲羅や動物の骨に刻まれた甲骨文字が使われていた。	紀元前16世紀頃に興った殷（商）では、占いの結果などを記録するために、亀の甲羅や牛の骨に文字を刻みました。これが漢字の原型とされる甲骨文字です。シルクロードの開通や仏教の伝来は漢の時代の出来事であり、度量衡の統一や万里の長城の整備は秦の時代の政策です。
問5	答え 2 労働を奴隷に依存する社会構造のもと、市民が直接話し合いに参加する政治が行われていた。	古代ギリシャの都市国家（ポリス）であるアテネでは、成人男性市民が民会に出席して直接政策を決定する直接民主政治が行われました。この市民による政治参加を支えていたのは、生産労働に従事していた奴隷の存在です。この仕組みは現代の民主政治の起源とされています。
問6	答え 3 亀の甲羅や牛の骨に占いの結果を刻む甲骨文字が使われ、それが漢字の原形となった。	殷の時代は、王が占いによって国政の重要事項を決定する神権政治が行われていました。その占いの道具として亀の甲羅や動物の骨が使われ、そこに刻まれた「甲骨文字」が現在の漢字のルーツとなりました。他の選択肢は、エジプト文明やメソポタミア文明、あるいは後の時代の中国の制度に関する説明です。
問7	答え 3 ムハンマドが唯一神アラールから受けた啓示に基づき創始した。	アラビア半島のメッカに生まれたムハンマドが、唯一神アラールの啓示を受けて創始したのがイスラム教です。他の選択肢について、シャカは仏教、イエスはキリスト教、インドの伝統信仰との結びつきはヒンドゥー教の成り立ちを説明したものです。
問8	答え 1 朝鮮から多くの陶工が日本へ連れてこられ、各地で窯を開いたから。	安土桃山時代に豊臣秀吉が行った朝鮮侵略の際、連れてこられた朝鮮の陶工たちによって有田焼や薩摩焼などの優れた陶芸技術が日本に伝わり発展しました。勘合貿易は室町時代、須恵器の伝来は古墳時代、正倉院は奈良時代の出来事となります。
問9	答え 2 「すべての道はローマに通ず」と言われるほど徹底した道路網の整備により、物資の流通や情報の伝達、軍隊の移動を効率化したため。	ローマ帝国のインフラ整備は、単なる利便性の向上だけでなく、広大な領土を中央集権的に統治するための合理的なシステムでした。特に整備された道路網は、反乱の鎮圧や外敵への対処のために軍隊を素早く移動させる軍事的な役割と、帝国全域の交易を支える経済的な役割を兼ね備えていました。また、水道などの公共施設の建設は、征服地の住民にローマ文明の恩恵を実感させ、統治を安定させる目的もありました。
問10	答え 4 黄河の流域で、高度な技術を用いた青銅器が作られ、占いなどの記録のために甲骨文字が使用された。	中国文明は、紀元前16世紀ごろに黄河流域で興った「殷（いん）」などの王朝を中心に発展しました。この文明では祭祀のために精巧な青銅器が作られたほか、亀の甲羅や牛の骨に刻まれた甲骨文字が使われており、これが現在の漢字の原型となりました。他の選択肢はメソポタミア文明、インダス文明、エジプト文明の特徴を示しています。
問11	答え 4 大陸から伝わった技術により、高温の窯で焼かれた灰色で硬質の須恵器が作られるようになった。	古墳時代には、朝鮮半島から渡来した人々の技術によって、従来の赤褐色の土器（埴輪や土師器など）とは異なる、窯を用いた高温焼成の「須恵器」が生産されるようになりました。磨製石包丁は弥生時代に稲刈りの道具として使われたものであり、縄文土器は縄文時代の煮炊き用具、打製石器は旧石器時代の狩猟・加工用具であるため、それぞれの時代背景や用途と一致しません。
問12	答え 3 エジプト文明	ナイル川の定期的な増水によってもたらされる肥沃な土地を基盤に発展した文明です。天文学が発達して太陽暦が作られたほか、バビルスに記される象形文字（ヒエログリフ）などの文化が生まれました。
問13	答え 3 アラビア半島	イスラム教の聖地であるメッカやメディナが存在するのは、アジア大陸の南西端に位置するアラビア半島です。この地域は古くから東西貿易の結節点として栄えており、イスラム教の教えが商人のネットワークを通じて広まる地理的要因ともなりました。